

(お知らせ)



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

京都市環境審議会部会



令和2年9月14日
京都市環境政策局

〔 担当：地球温暖化対策室
電話：075-222-4555 〕

令和2年度第2回地球温暖化対策推進委員会の開催について

京都市では、2050年までの二酸化炭素排出量正味ゼロを実現するため、「京都市地球温暖化対策条例」の見直し及び次期「京都市地球温暖化対策計画」の策定について、検討を進めているところです。

この度、令和2年度第2回地球温暖化対策推進委員会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 日時

令和2年9月17日（木）午後2時～（2時間程度を予定）

2 場所

京都市役所分庁舎4階 第4会議室

3 議題

次期京都市地球温暖化対策計画に盛り込む事項について

4 傍聴

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴は5名とします（先着順）。また、会場内ではマスクの着用、アルコールスプレーによる手指の消毒に御協力いただきますようお願いいたします。
- (2) 傍聴希望者の受付は、当日の午後1時45分から開始します。
- (3) 記者席は別途用意します。
- (4) 発熱等の風邪症状がある方は、傍聴を御遠慮願います。
- (5) ペーパーレス化を図るため、傍聴者及び記者に対して資料の配布は行いません。前日までに本市のホームページ*に資料を掲載しますので、ノートパソコンなどの端末にデータを保存していただくか、御自身で印刷していただくなどの御対応をお願いいたします。なお、「端末を保有していない」又は「印刷できる環境がない」など、対応することができない場合は、事前に御連絡ください。

※ 『京都市 地球温暖化対策推進委員会』で検索してください。

（掲載先URL）<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu1/category/14-10-3-0-0-0-0-0-0.html>

（注）当日、会場から京都市情報館にアクセスして資料を閲覧される場合は、御自身で通信環境を御用意ください。

学識経験者等の17名

氏名（敬称略）	役職・所属団体等
学識経験者	
伊庭 千恵美	京都大学大学院工学研究科准教授
小杉 隆信	立命館大学政策科学部教授
坂野上 なお	京都大学フィールド科学教育研究センター助教
千葉 知世	大阪府立大学院人間社会システム科学研究科准教授
○仁連 孝昭	滋賀県立大学名誉教授
森本 幸裕	京都大学名誉教授
諸富 徹	京都大学大学院地球環境学堂教授
山本 芳華	平安女学院大学国際観光学部准教授
環境保全活動団体等	
鈴木 靖文	有限会社ひのでやエコライフ研究所取締役
田浦 健朗	特定非営利活動法人気候ネットワーク事務局長
高橋 肇子	伏見板橋学区における「エコ学区」活動の代表
事業者団体	
岡村 充泰	一般社団法人京都経済同友会常任幹事
柿本 敏男	京都商工会議所環境・エネルギー特別委員会委員長
橋本 裕治	公益社団法人京都工業会環境委員会委員長
牧野 伸彦	京都府中小企業団体中央会理事
市民公募委員	
池本 優香	市民公募委員
一原 雅子	市民公募委員

※ 「○」は委員長を表す。

<参考> 開催にあたっての経過

昨年5月に、京都市で開催されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）総会の記念シンポジウムにおいて、京都市長や環境大臣などが、世界の平均気温の上昇を1.5℃以下に抑えるべく、2050年ごろまでに二酸化炭素排出量の「正味ゼロ」に向けて、あらゆる方策を追求し具体的な行動を進めていくことを決意し、世界に訴える「1.5℃を目指す京都アピール」を発表しました。

これを踏まえ、昨年7月、京都市環境審議会に「京都市地球温暖化対策条例」の見直し及び次期「京都市地球温暖化対策計画」の策定について諮問し、同審議会の部会である地球温暖化対策推進委員会における議論を経て、本年9月2日に「京都市地球温暖化対策条例の見直しに関する事項」について、答申を受けました。引き続き、次期「京都市地球温暖化対策計画」の策定について検討を進めています。